

【発行元】全国大学生協連関西西北陸ブロック

おしながき

- ①全国共済セミナー参加者の共有
- ②ガンバロー共済セミナーについて
- ③現状分析の実践
 - 企画書から
 - 給付実績から

開催概要

日程：2019年9月18日(水)

場所：コープイン京都204会議室

参加者（カッコ内は人数）

立命館衣笠(1)・BKC(2)・OIC(1)、龍谷大深草(1)、京教大(1)、奈教大(2)、奈良大(1)、ブロック(5)

計5会員14名

01 「共」：ともに
「済」：たすける

全国共済セミナー参加者から共有

全国共済セミナーの参加者中心に「感じたこと」「伝えたいと思ったこと」「自分にできること」「エリアで広げたいこと」などを中心に感想交流を行いました。

セミナー全体を通して「たすけあい」について考えを深められたという共通認識のもと、ハロー共済・全共済での学びを、さらに深めていきたいと確認しました。

全国共済セミナーに参加した人

感想を話してほしいです！

- ・率直にどういったことを感じたか
 - ・自大学の仲間、身近な仲間にとんちんかたを伝えたいと思ったか
 - ・自分にできると思うこと
 - ・エリアで広めたいこと
- などなど自由にお願います！

ともにたすける、と書いて「共済」です。やはり推進にあたって大事にしたいことはこの「想い」です！

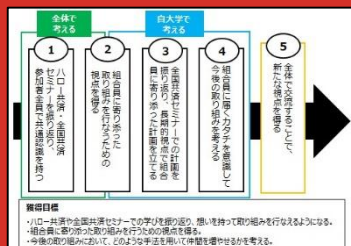
02 学んだことを
取り組みに落とし込むには…

ガンバロー共済セミナー、やります！

エリア共済推進委員会メンバーで、ガンバロー共済セミナーの実行委員会を組織しました。

企画長から学びの流れが共有され、各大学で取り組みを通じて「想い」を広げられるようなセミナーにするためにはどうすればよいか、意見を出し合いました。

「現状分析」に着目したセミナーにしています！



自大学できちんと考えるためのコンテンツを考え中…！お待ちしています！

03 現状分析は分かるけど…
どうすればいいの？

データをどう見ればいいのか、整理しました

「データを活用した現状分析をしよう！」「給付事例学習会を通して組合員の様子を見よう！」と提案してきましたが、いざやろうとしても「データをどう見れば…」と学生は迷ってしまいがち。そこでどこを見れば何が見えるのか、推進委員会で整理をしました。

現状分析をしてみよう②

- ・たすけあいアンケート（→最後に回収）
- ・給付事例

- Q.どのようにデータを見たらよいだろう？
- Q.どのようなデータで現状を見ることができるか？

ガンバロー共済セミナーのコンテンツに反映します！乞うご期待…！

次回の推進委員会は10/11(金)です！

自大学の現状に寄り添った取り組みが増えるための推進を今後も続けていきます！

文責：ブロック学生事務局[四方 遼祐]

